

学科

- 幼児教育科
- 幼児教育科専攻福祉専攻(一年課程)

2015年 オープンキャンパス

- 7月12日(日)
- 8月23日(日)
- 9月13日(日)



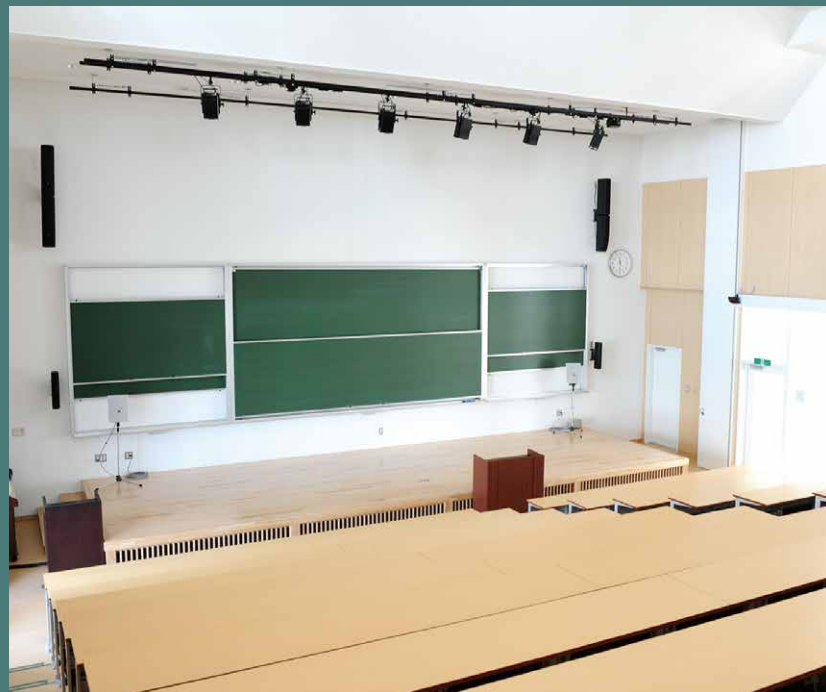
■ お問い合わせ

〒970-8567 いわき市平鎌田字寿金沢37
Tel.0246-35-0002 Fax.0246-25-3372
E-mail nus@tonichi-kokusai-u.ac.jp

学生からの
メッセージ歴史のある「幼児教育科」で
自分を育て温もりの人になる

幼児教育科2年 本間 いづみ

歴史のある「幼児教育科」で徹底的に幼児教育を学びたいと思い進学しました。高校にはない専門的な授業がとても興味深く、女子寮も楽しくて一日があっという間に過ぎて行きます。子育ての答えは、一つではないことも分かりました。ならば、ほかにどんな答えがあるのか…みんなで話し合った結果を持って卒業できるのがうれしいです。授業以外では、子育て支援を中心に児童福祉関係の施設などに手遊びや絵本の読み聞かせを届けるサークル「わたぼうし」で、自分の保育の引き出しを豊かにすることができました。就職は、1年生の時から先生方へ何度も相談してしっかり準備をしてきたので希望通りに進めそうです。

URL <http://www.shk-ac.jp/ijc/>

幼児教育科

幼児教育科
専攻福祉専攻

いわき短期大学

Iwaki Junior
College

本学では、「人と共に生きる仕事」に就くための知識や技能だけでなく「人間力」という最も大切な力の育成に努めています。

保育者を目指す学生には、子どもと共に「温もり」を伝え合いながら「育ちあふ」ことに喜びを見出す「専門家」としての力を発芽させてほしいと願っています。

震災後、私たちが強く意識しているのが「最善の利益を子どもたちに保障する」という保育の基本

です。幼稚園教諭・保育士を目指す学生たちには、福島県の子どもたちを育んでいく同志として期待しています。「丸」となってピンチをチャンスに変えて子どもたちのための最善の保育環境を共に創って行きたいと思っています。

そもそも本学に進学される皆さんは、目的がはっきりしているのも頼もしく感じます。2年間という限られた時間の中で皆さん本日に一日一日を大事に過ごしています。授業では知識や技能を、学外実習やボランティア等では実践を学びます。中でも学生たちに大きな実りをもたらすのが幼稚園

人と共に生きる仕事に
必要不可欠な知識と技能、
何より大切な「人間力」を育む

や保育園・施設で取り組む実習です。真剣に準備をしていく学生ほど、自分で自分を育てることになり確かな手応えを得ているようです。

学生たちには、今しかできないことも大切にしてほしいと願っています。その一つが「保育とは何か」「自分にとってどういう保育が理想か」という保育観と、「どんな子どもを育てて行きたいか」という子ども観を育むことです。何にも縛られない学生の特権を生かして、たつぷりと膨らませた自分なりの保育観、子ども観が後で必ず役に立ちます。免許・資格については、平成24年の認定こども園法

の改正により、新たな「幼保連携型認定こども園」(平成27年度4月施行)が創設されることになりました。ここで働く保育教諭は、改正認定こども園法施行後5年後には、幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を有することが必須となります。そのため学生たちには子ども子育て支援新制度の動向を見据えて、ぜひ両方取得してほしいと願っています。また、本学には保育士資格取得者を対象とし、1年間で介護福祉士の資格取得を目指す専攻科もあります。3つの資格を取得すると、子どもからお年寄りの施設まで働く幅が広がります。



幼児教育科

鈴木 まゆみ 教授

福島大学大学院人間発達文化研究科教職教育専攻修了。教育学修士。担当科目／保育内容総論、教育実習指導1・2年、保育内容指導法「環境」、保育・教職実践実習(幼稚園)、クラスゼミ1・2年。